

報道機関各位

一般財団法人 とうほう地域総合研究所
理事長 矢吹 光一

「今年はどうなる！2023年の景気見通し」 ～県内の企業経営者へのアンケート調査結果について～

2023年を迎えるにあたり、当研究所では毎年恒例の「景気見通しアンケート」を福島県内の主要企業経営者にお願ひし、69社から回答を得ました。今般、アンケート結果についてとりまとめましたので、お知らせいたします(アンケート時期：2022年10月)。

なお、詳細は当研究所機関誌「福島の進路」2023年1月号及び当研究所ホームページに掲載いたします(福島の進路 調査レポート)で検索、または右のQRコードをご利用ください。



記

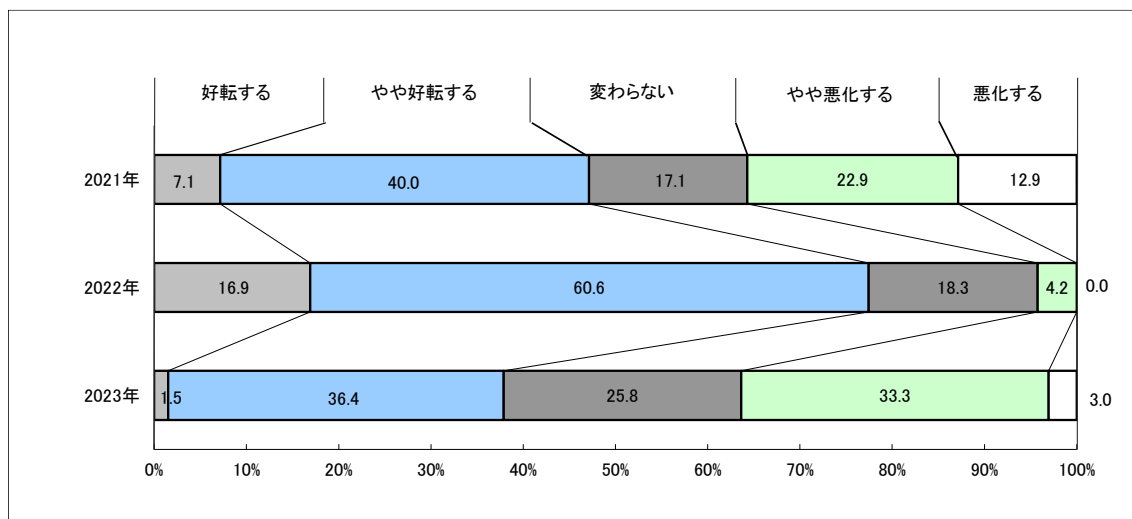
1. 国内景気の見通し

Q. 2023年の「国内景気」について、2022年と比べてどのように判断しますか？

～良化する予想が大幅に減少し判断が割れる～

| | 2021年 | 2022年 (a) | 2023年 (b) | 前年比増減 (b)-(a) |
|-------------|-------|--------------|--------------|------------------|
| 好転する・やや好転する | 47.1% | 77.5% | 37.9% | △39.6 ㊦ |
| 変わらない | 17.1% | 18.3% | 25.8% | 7.4 ㊦ |
| やや悪化する・悪化する | 35.7% | 4.2% | 36.4% | 32.1 ㊦ |

※小数点第二位を四捨五入しているため、前年比増減が合致しない場合や下記図表と一致しない場合あり(以下同)



「好転する・やや好転する」が 37.9%(前回比△39.6 ㊦)と大幅に減少する一方、「変わらない」は 25.8%(同+7.4 ㊦)と増加、「やや悪化する・悪化する」が 36.4%(同+32.1 ㊦)と大幅に増加し、判断が割れる結果となった。

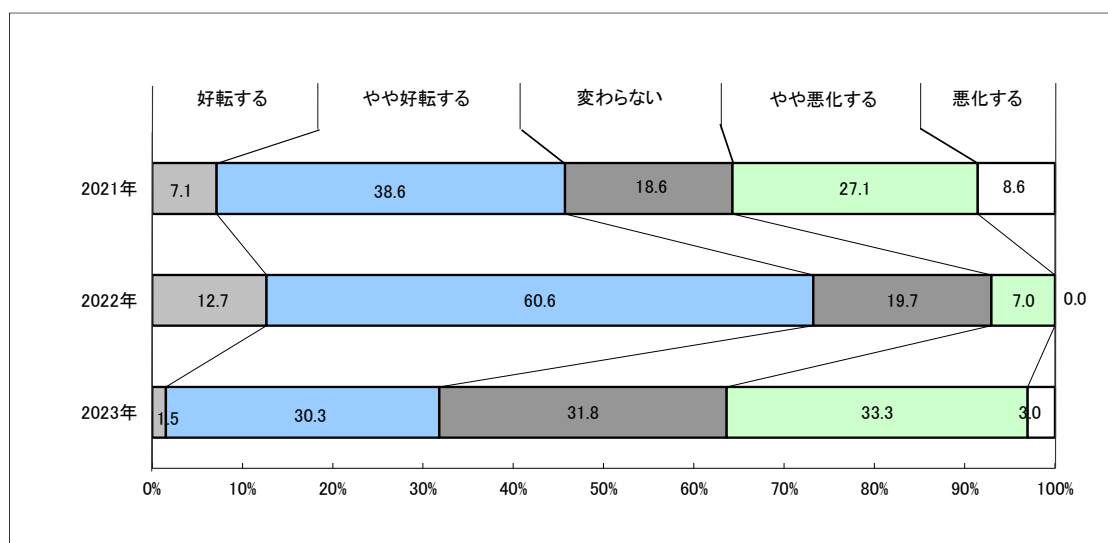
前回の 2022 年アンケート（実施時期：2021 年 11 月）は、ワクチンの接種率が 7 割を超え感染力の強いデルタ株による第 5 波が沈静化した時期に実施しており、景気が良化するとの見通しが大幅に増加したものとみられるが、今回の 2023 年アンケートはウクライナ等の国際情勢により原油価格高騰や急速な円安による物価上昇が顕著となった 10 月に実施しており、企業の収益悪化や個人消費の冷え込みを理由に、景気が横這い、または悪化するとの見通しが増加したものとみられる。

2. 県内景気の見通し

Q.2023 年の「県内景気」について、2022 年と比べてどのように判断しますか？

～国内景気と同様、良化する予想が大幅に減少し判断が割れる～

| | 2021 年 | 2022 年 (a) | 2023 年 (b) | 前回比増減 (b)-(a) |
|-------------|--------|---------------|---------------|------------------|
| 好転する・やや好転する | 45.7% | 73.2% | 31.8% | △41.4 ㊦ |
| 変わらない | 18.6% | 19.7% | 31.8% | 12.1 ㊦ |
| やや悪化する・悪化する | 35.7% | 7.0% | 36.4% | 29.3 ㊦ |



県内景気の見通しについては「好転する・やや好転する」が 31.8%(前回比△41.4 ㊦)と大幅に減少し、「変わらない」は 31.8%(同+12.1 ㊦)と増加、「やや悪化する・悪化する」が 36.4%(同+29.3 ㊦)と大幅に増加し、判断が割れる結果となった。

国内景気と同様、物価上昇に伴う企業の収益悪化や個人消費の冷え込みを理由に、景気が横這い、または悪化するとの見通しが増加したものとみられる。

以上

本件に関するお問い合わせ先
 とうほう地域総合研究所 担当：鈴木
 TEL 024(523)3171 (9:00～17:00)